

A light blue map of Japan is visible in the background, showing the four main islands: Hokkaido, Honshu, Shikoku, and Kyushu.

地方分権議論の真姿と方向性

2006 / 7 / 14

北海道大学公共政策大学院

宮脇 淳

21世紀の地方分権のカギ

2011年度プライマリーバランス後の方向性

グローバル都市間競争への対応

道州制的発想の重要性

2011年度プライマリーバランス後の方向性

プライマリーバランス改善の理由

- ・地方自治体の歳出削減(人件費・単独事業)の進展
- ・景気回復による税収の改善

プライマリーバランス議論の課題

- ・地方交付税制度を如何に考えるか
- ・増税財源の帰属(国か地方か)

地方交付税制度を如何に考えるか

中央集権型の歳出保障制度を維持するか

→ 暗黙の政府保証による国の管理

地方分権型の歳入保障型に転換するか

→ 地域の自立による信用力の形成



地方税源充実による国からの交付税の減額

地方税源間の水平的財源調整の確立

人口・面積等による客観化

地方債制度の改革

暗黙の政府保証からの脱却



地方債の自由化・多様化

- ・市町村単位の自由化ではない
- ・事業や道州政府等の信用力充実

夕張市財政破綻問題の本質

公営企業金融公庫廃止を巡る議論

夕張市財政破綻問題の本質

再建計画40 - 60年の実態

出納整理期間一時借入金活用手法の意味

夕張市特有の問題か？

現行、財政再建制度の欠陥



再生困難な自治体を如何に措置するか

地域のあり方をどう考えるか

公営企業金融公庫廃止を巡る議論

引当金は誰のもの？

- ・引当金 2兆8000億円
- ・準備金 8000億円
- ・国の出資金 166億円



国家財政に帰属するのか
地方財政に帰属するのか

歳入・歳出一体化

玉虫色の地方財政

地方交付税等削減を如何に位置づけるか

地方税の充実



消費税の帰属

国と地方の議論

地方と地方の議論

グローバル都市間競争への対応

地域の個性を如何に発揮するか

地域内循環を如何に形成するか

地域のブランドは何か

(例) 東京24区の実態

図1 総人口の推移：中位・高位・低位

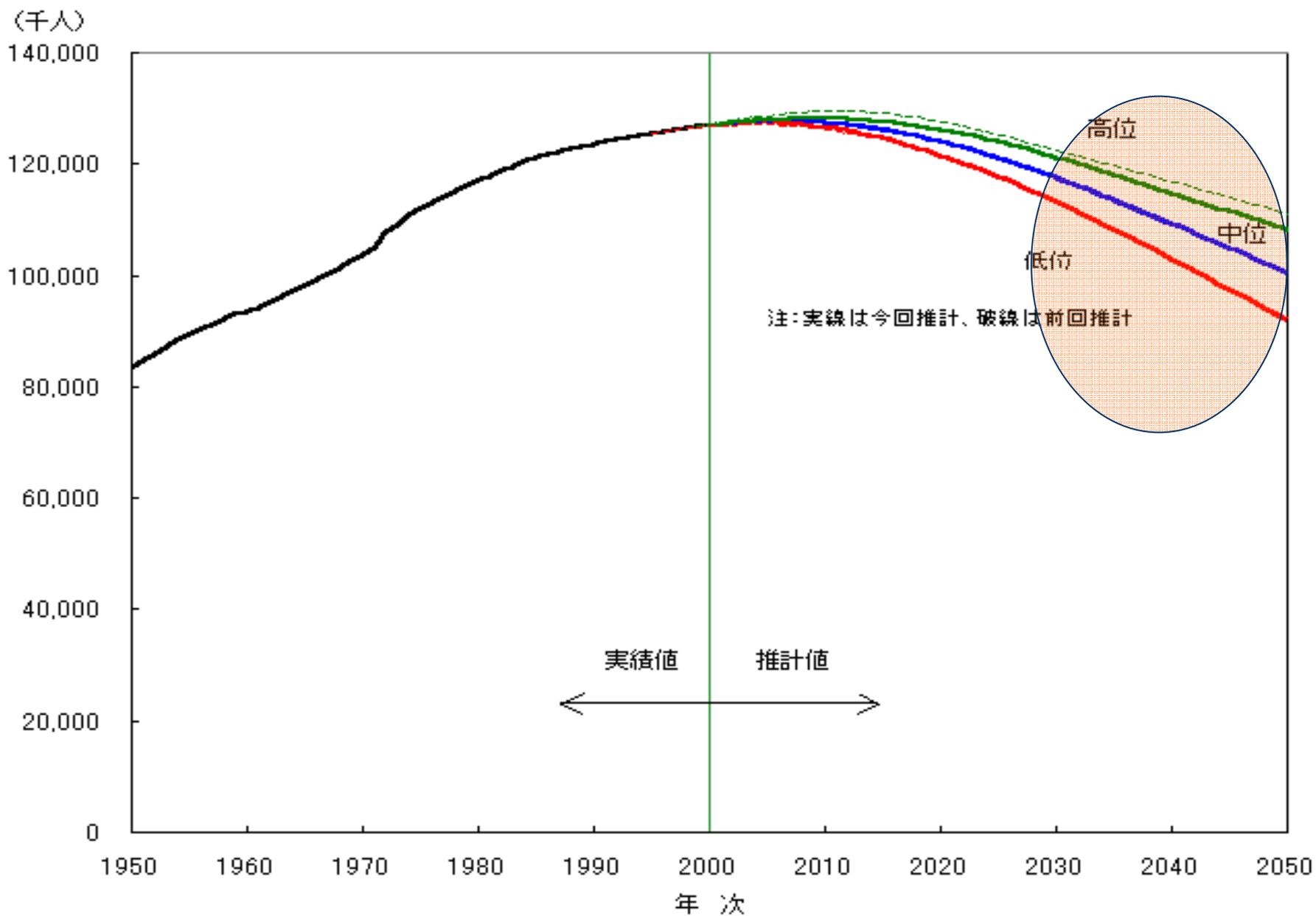
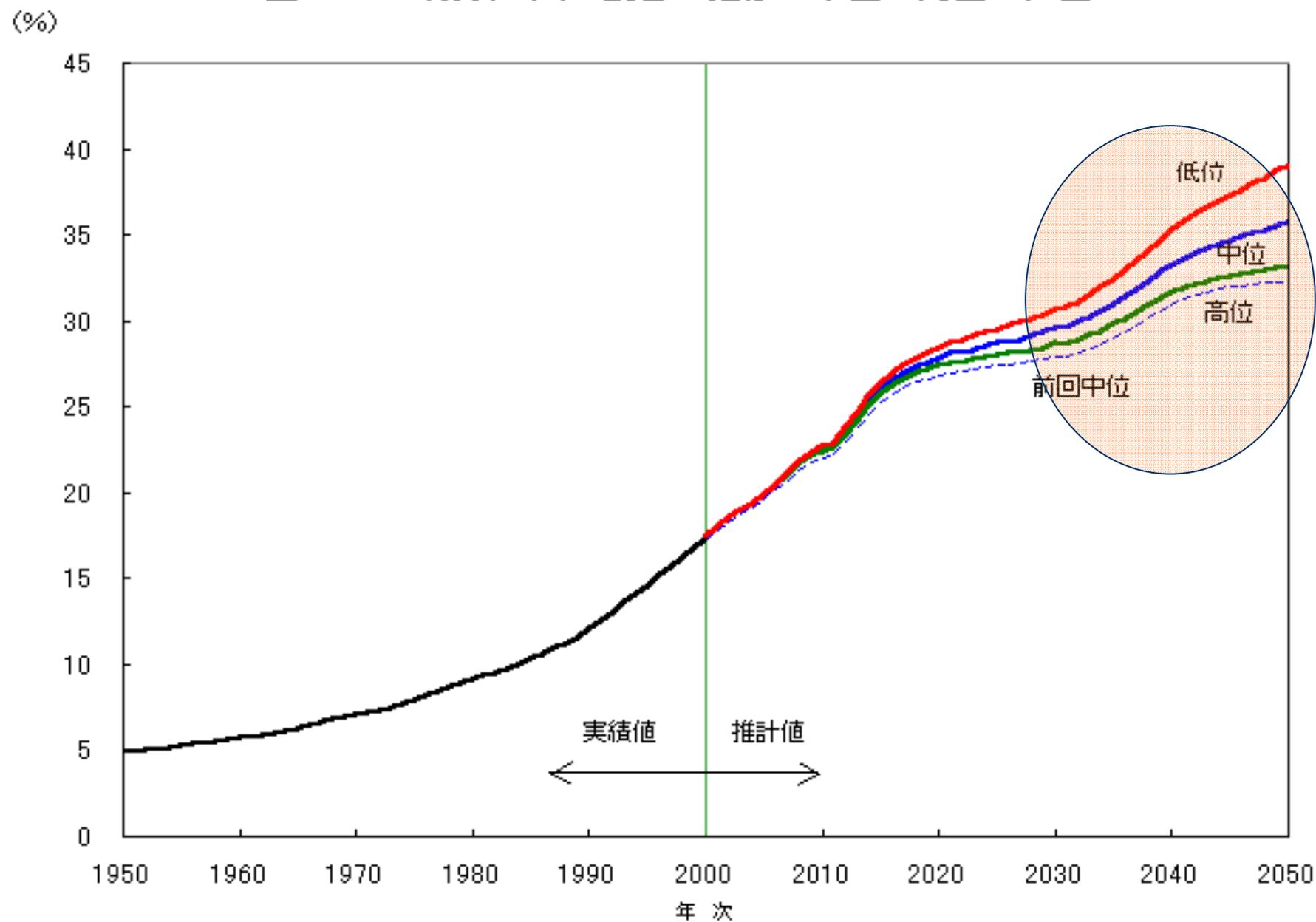
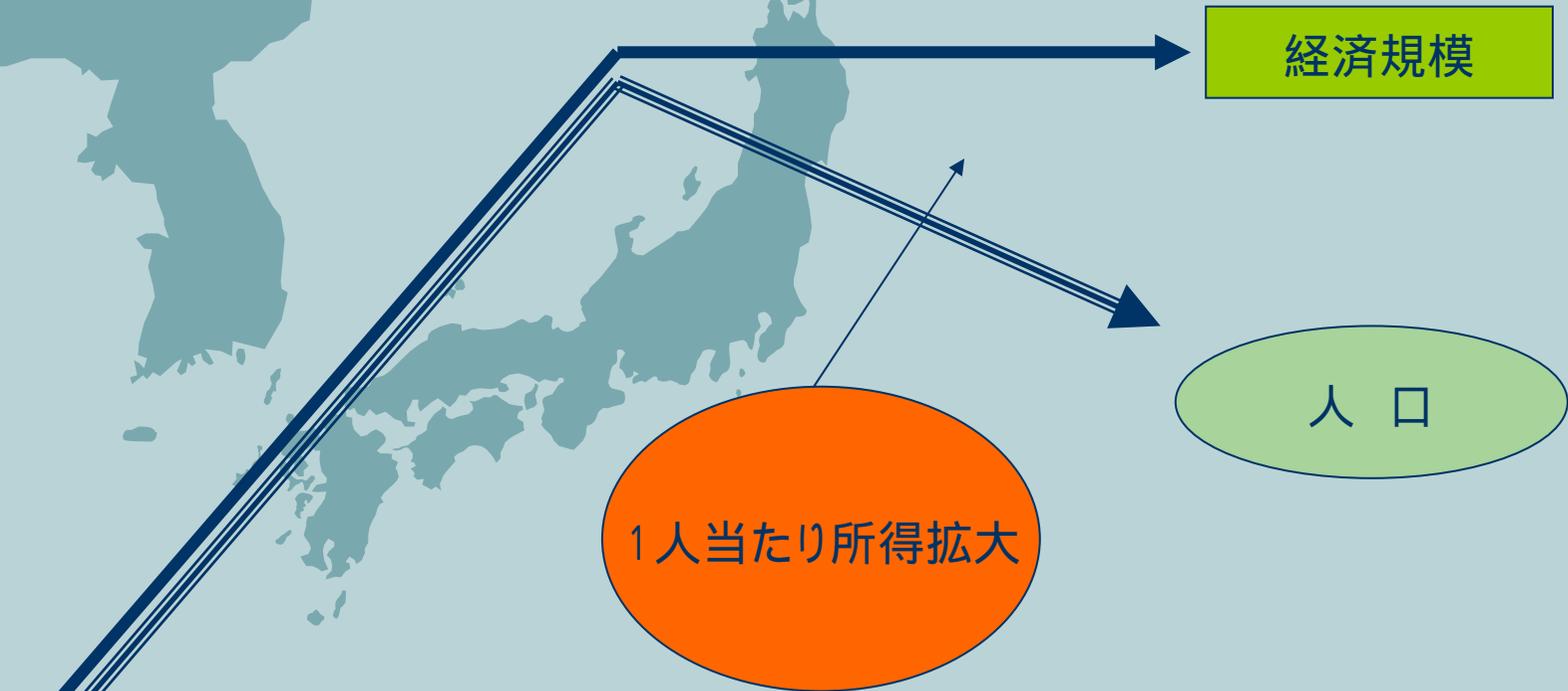


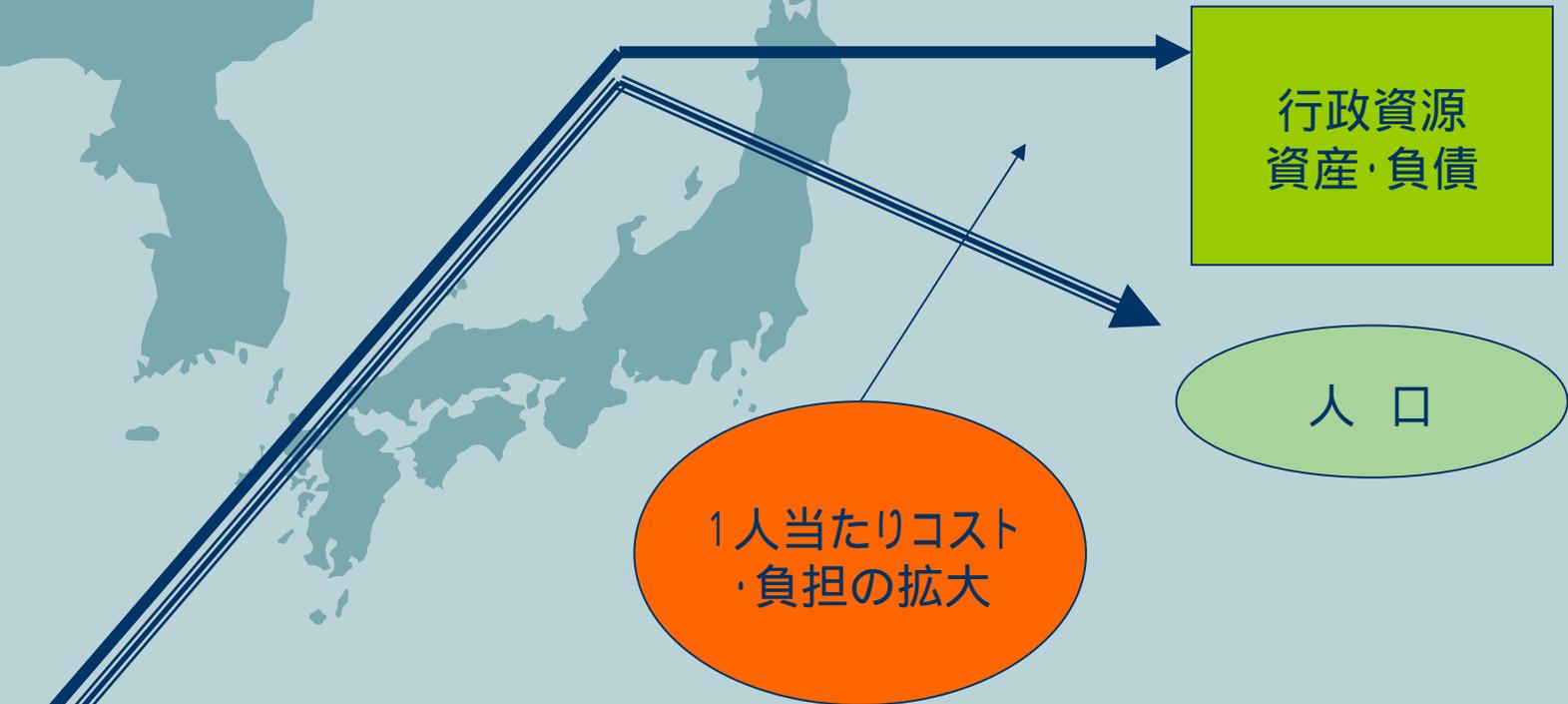
図2 65歳以上人口割合の推移：中位・高位・低位



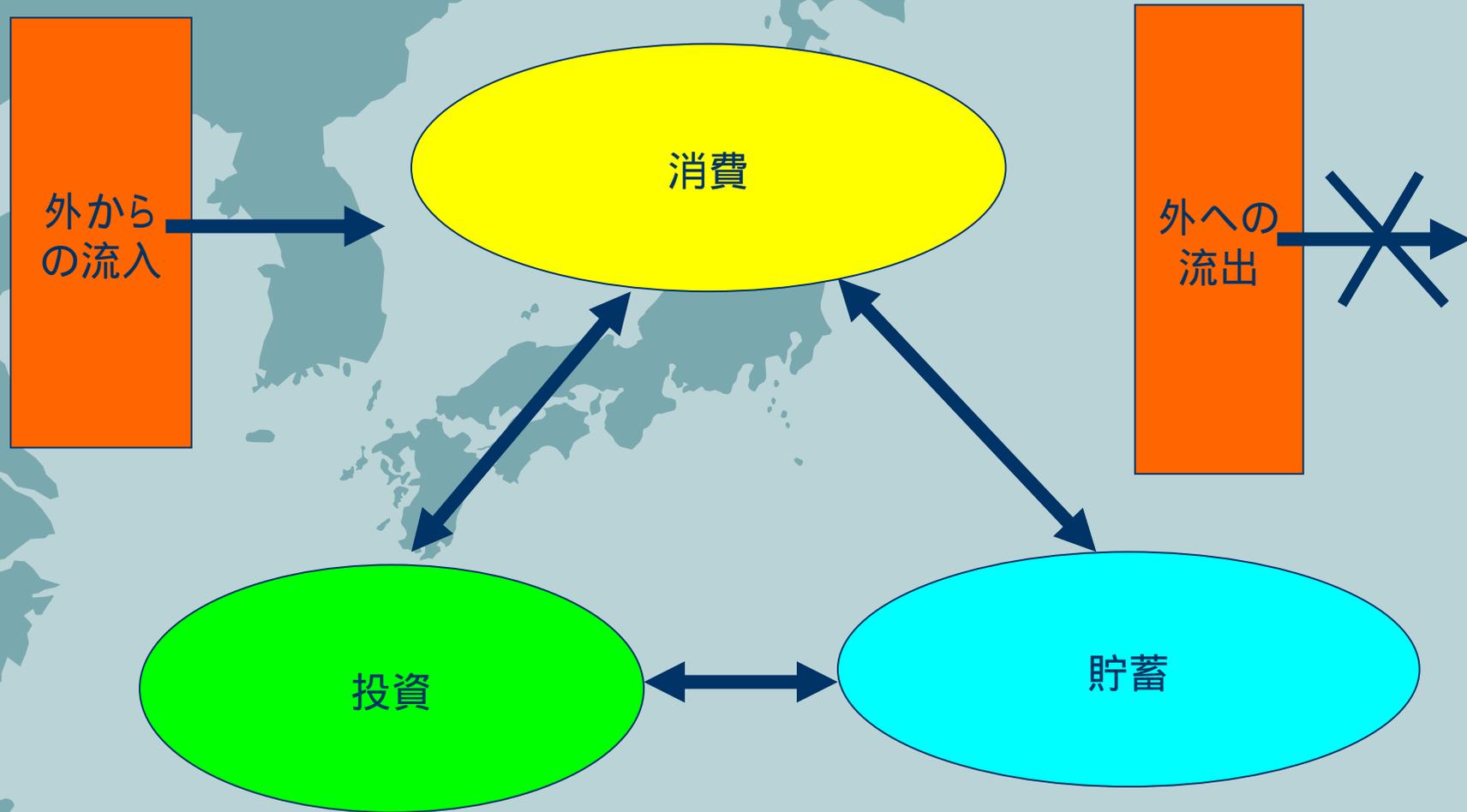
人口減と経済規模



人口減と行政資源



課題：地域の内部循環構造

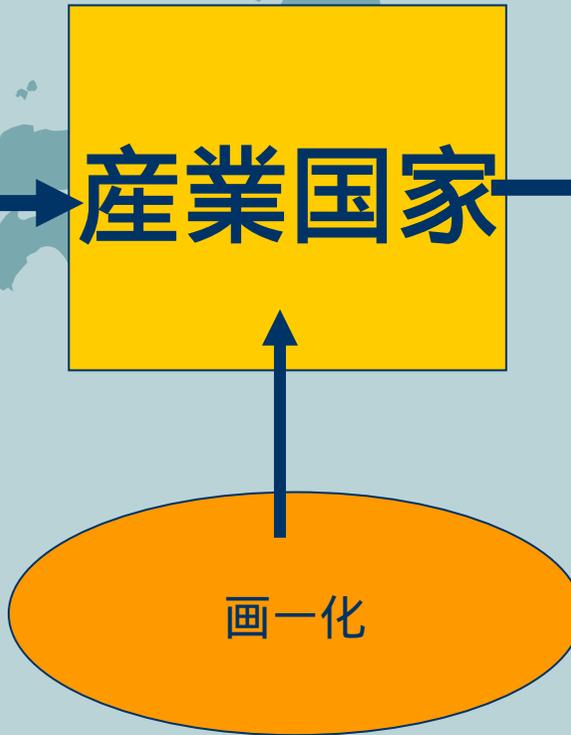


経済・社会の段階的发展

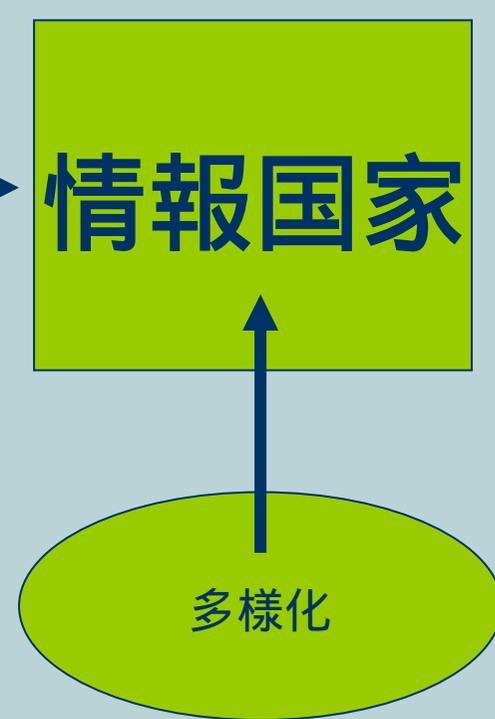
● 威の時代



● 画一時代

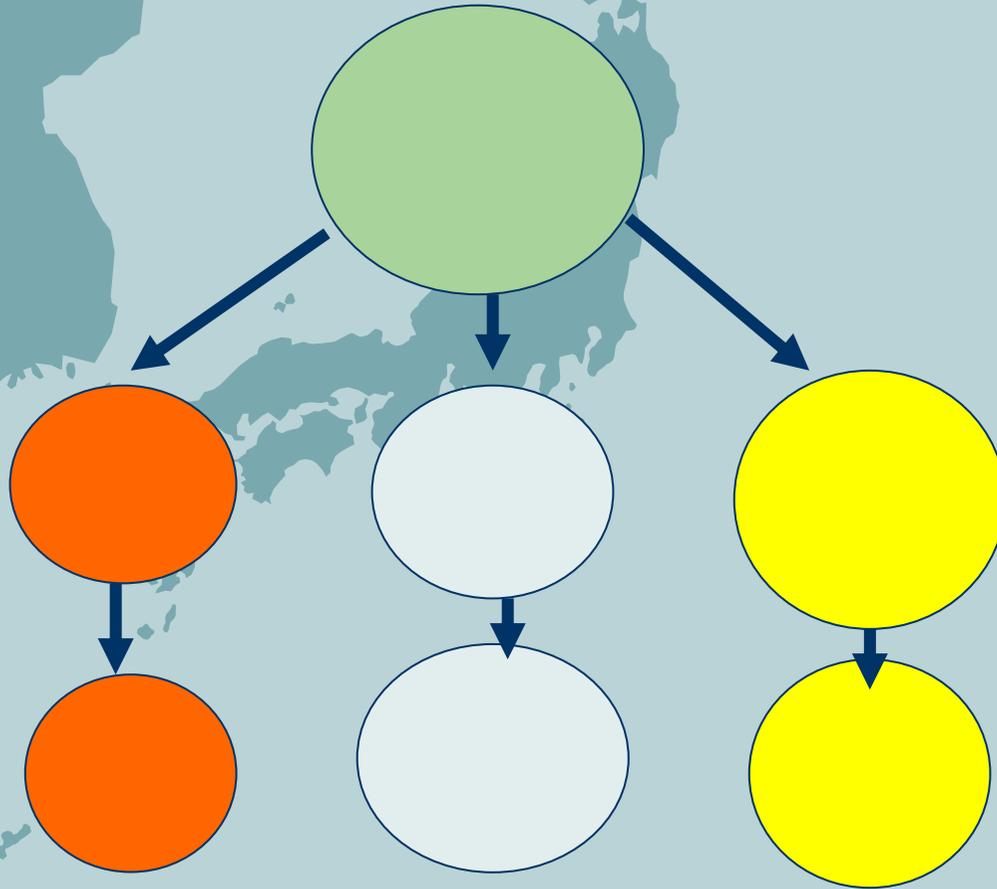


● 知の時代



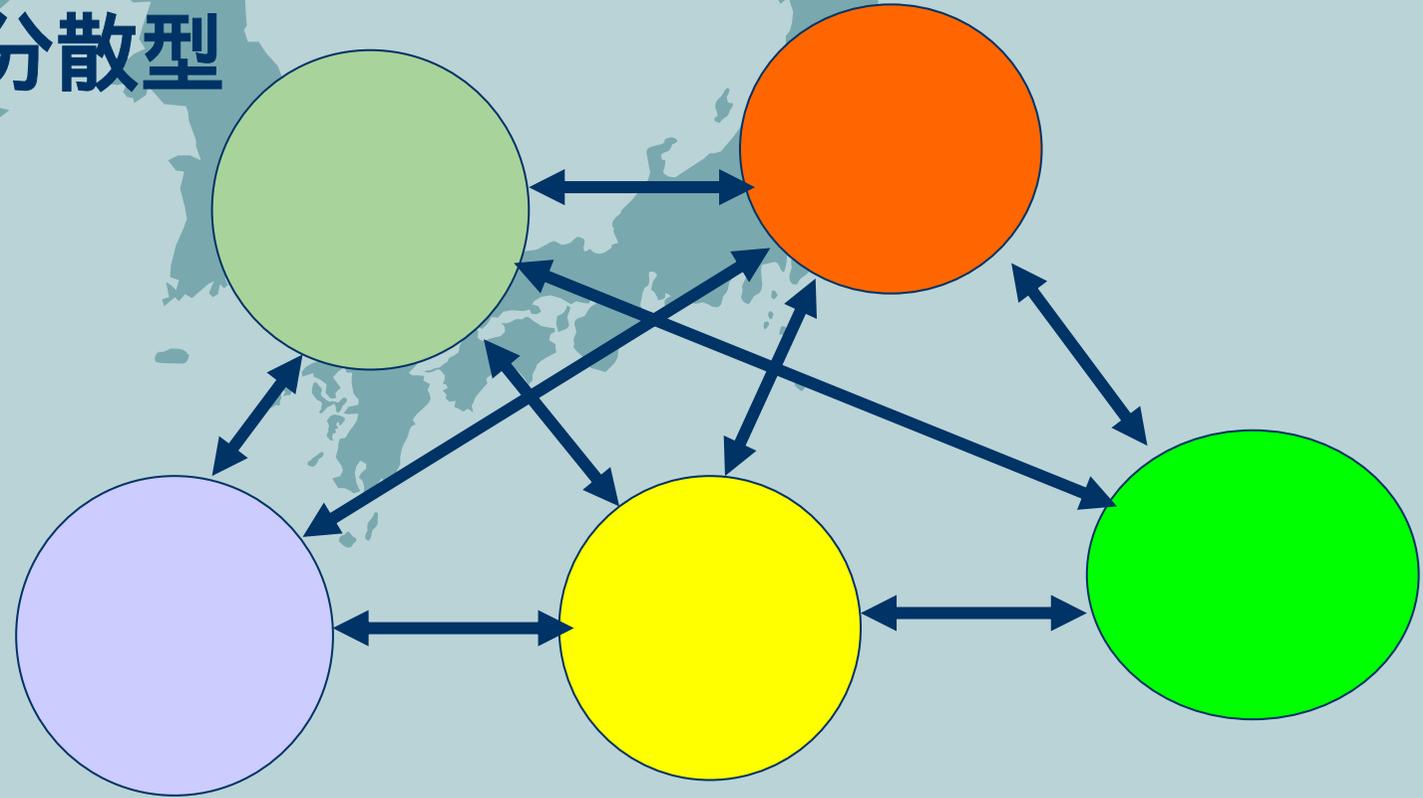
縦型ネットワーク

画一型
集権型



横型ネットワーク

- 多様型
- 分散型



コンビニエンスストアの戦略

1. コンビニエンスストアは何業か

2. コンビニエンスストアの戦略

縦型ネットワークから横型ネットワークへ

3. 地域化とグローバル化

道州制的発想の重要性

地域の個性と信用力の形成



グローバル都市間競争力の向上
地域内循環の形成
地域内分権の強化

北海道道州制議論の実態

優遇された地域の苦悩

行財政、業界等

道民議論の欠如

行政機関議論の欠如

域内分権の欠如



推進法の意義：北海道限定ではないこと
内閣法制局の成果

東京・政令指定都市等問題

格差論の課題

東京の位置づけ

政令指定都市の位置づけ

国会、地方議会

道州政府の機能